

## 交流空間を実現 「未来企画」表彰

### 仙台市「四方よし」大賞

仙台市は、地域発展や市民生活の向上に貢献した市内の中小企業を表彰する2019年度の仙台「四方よし」企業大賞に、多世代複合施設「アンダンチ」を運営する未来企画（若林区）を選んだ。

アンダンチは18年7月、若林区なないろの里にオープン。サービスタッチ高齢者向け住宅、障害者就労支援事業所、企業主導型保育所、飲食店などを併設する。地域の子どもや高齢者、障害者が交流できる空間を実現したことが評価された。

1月28日に応募9社の最終選考会があり、福井大輔社長は「地域の人が気軽に入って、福祉の現場に触れられる機会をいかにつくるかを考えている」と語った。

優秀賞は建築設計事務所「関・空間設計(青葉区)」、建設業の深松組(同)に決まった。

企業大賞は市が16年度に創設。社会的課題の解決を

図り「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」を実現し、魅力的な職場環境をつくる「働き手よし」も実践する企業を表彰する。

20年度以降は制度を一新する。理念に賛同する市内の企業が仙台「四方よし」宣言企業として登録し、2年に1回、登録企業から大賞を選ぶ方式に改める。次回の大賞選考は21年度。